

川崎異業種研究会（以下略称川異研）は、当所会員企業から成る異業種交流のグループです。昭和62年7月に設立され、今年で24年目を迎えます。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

9月定例会

9月8日(木)、ソリッドスクエア会議室にて午後6時より、会員15名と新入会希望者6名の見学者の参加を得て開催。本年度、川異研の新入会員となった、株式会社経理バンク 取締役の住友雅彦氏と、こすぎ法律事務所 弁護士の石坂想氏に、それぞれの企業紹介と中小企業に役立つお話を頂いた。

住友雅彦氏は「中小企業を元気にする経理・税務サポーターを目指して」と題し、事業の概要やコンセプト、取組みを中心に、組織として経理・会計戦略を展開している旨の説明がなされた。

石坂想氏は「弁護士との上手な付き合い方」と題し、興味や関心を持つわかりやすい説明で、弁護士という職業について今までと違う一面を知った。

今回の定例会で、会員相互の事業理解を深めることができた。その後、懇親会場に席を移し、盛会のうちに終えた。



9月分科会

9月14日(水)、中原市民館会議室にて、午後6時30分より、会員9名と体験希望者2名、学生2名の参加者を得て開催。「IT」をテーマに、CompTIA（コンプティア）日本支局 シニアコンサルタント 板見谷剛史氏より、お話を頂いた。

CompTIAは、1982年に本部(シカゴ)を開設。欧米を中心に10拠点をもち、全世界で活動している。日本支局は開設されて10年である。日本におけるIT資格、技術認定というと国家資格やマイクロソフトなどが認定する資格がポピュラーだが、世界的にはCompTIAの認定資格が業界のグローバルスタンダードとなっている。

今回は、どんな業種でも参考になる業界標準とその伝承に関するIT業界の考え方をご教示頂き、経営戦略として汎用的に利用のできる知見となった。

また、「情報セキュリティ保護に最も脅威なことは人材の流失である」という海外では常識になっているお話から、日本企業においても人材教育と長期雇用の必要性を痛感した。

(副会長 小林猛久氏作成の報告書より抜粋)



加入のお問い合わせは

事務局：多摩麻生支所 TEL 044-932-1100